

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|--|---|--|--------------|--------------------|--------------|-----------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-① | 観光地等クリーンアップ事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-7 | |
| 担当部署名 | 商工観光課 | | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 観光リゾート産業の振興 | |
| 事業内容 | 本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈作業や花壇等の環境整備を行い、花木の植栽など美化活動を行う。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 35,000 | 35,000 | 35,000 | 35,000 | 45,000 |
| | | (b) 予算現額 | 35,000 | 29,600 | 39,084 | 35,000 | 44,000 |
| | | (c) 増減額(b-a) | 0 | ▲ 5,400 | 4,084 | 0 | ▲ 1,000 |
| | | (d) 繰越額 | — | — | — | — | — |
| | | A. 計(b+d) | 35,000 | 29,600 | 39,084 | 35,000 | 44,000 |
| | B. 執行済額 | | 26,719 | 28,730 | 39,084 | 34,027 | 43,362 |
| | うち交付金充当額 | | 21,375 | 22,983 | 31,267 | 27,214 | 34,689 |
| | 次年度繰越額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 76.3% | 97.1% | 100.0% | 97.2% | 98.6% |
| 予算の状況の説明 | | 予算については、1.4%の不用が生じたが、その要因として天候不良により作業中止となったことが原因であり、ほぼ計画どおり執行でき適正であったと考える。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽、肥培管理の実施 | | 目標 (実施) | (実施) | (実施) | (実施) | |
| | まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(5カ所) | | 実績 実施 | 実施 | 実施 | 実施 | |
| 達成状況説明 | | 観光ルート等の雑草の除去については現場の状況に応じた草刈り作業を実施するとともに、花木の植栽や植栽後の定期的な肥培管理についても、散水・草取り作業・追肥等を計画的に実施することができた。 | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(24年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(30年度) |
| | 観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。 | | 目標 () | (80%) | () | () | () |
| | | | 実績 | 99% | | | |
| | 進捗状況説明 | | 本事業を客観的に見るため、今回から来客者に対し観光地の景観についてのアンケートを実施した。「満足した方」が全体の86.2%、「やや満足した方」が全体の12.8%となり、合算して99%の方が満足したという結果となっており、目標を達成した。 | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|---|--|
| | <p>・草木の生長が早くなる夏場の猛暑時期に、作業効率が悪化して除草作業が遅れてしまい、景観の維持向上が図れない場合があった。</p> | <p>・夏場の猛暑日の作業時には作業員配置の見直し、猛暑の時間帯での休憩等、臨機応変な対応をすることにより、作業員の作業意欲を向上させ、作業効率の向上を図っていく。</p> |

今後の取り組み方針

・範囲の広い観光施設等については、機械による作業で効率化を図るため、乗用式芝刈機の導入を検討する。併せて、ビーチの景観と安全性を改善するため、ビーチクリーナーの導入も検討する。
 また、猛暑時における休憩時間の確保や、定期的な作業員の安全教育の実施などにより、体調管理等を含め、作業効率の維持・向上に努めていける環境を構築する。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| | | 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|--|--|--------|---------|--------|--------|---------|
| | | 43,362 | 43,362 | 34,689 | 8,673 | 0 |

| | | | |
|--|-----------------|----------|----------------------|
| 伊是名村 交付対象事業費 43,362千円 | 共済費 | 5,249千円 | (臨時職員社会保険料 16名) |
| | 賃金 | 31,515千円 | (臨時職員賃金 16名) |
| | 需用費 | 2,958千円 | (消耗品及び燃料費) |
| | 役務費 | 287千円 | (通信運搬費) |
| | 使用料及び賃借料 | 540千円 | (重機等使用料) |
| | 原材料費 | 2,813千円 | (花の種苗代、肥料代等) |

| 資金の 使途の 流れ、 点検 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|-------------------------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | <p>○支出先の選定について、臨時職員は公募により雇用を行っており、その他の経費についても村の会計規則等に基づき適切に選定されている。 ○予算規模については、多少の不用は生じたが、賃金の実績精算等に係るものであり、見込額としては適正であった。 ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|--|----------------------|--------------|------------|--------------------|--------------|---------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-② | いぜな尚円王まつり支援事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-7 | |
| 担当部署名 | 商工観光課 | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 観光リゾート産業の振興 | |
| 事業内容 | 本村の魅力を発信し、観光客の誘客を図るため、いぜな尚円王まつりにおいて、各字・島外文化交流、マリンレジャー、スポーツ交流、各種体験プログラム等を実施する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | 25年度 | 26年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | | (a) 当初予算額 | 7,000 | 6,000 | 6,000 | 7,000 | 7,000 |
| | (b) 予算現額 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 7,000 | 7,000 | |
| | (c) 増減額(b-a) | ▲ 1,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | (d) 繰越額 | — | — | — | — | — | |
| | A. 計(b+d) | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 7,000 | 7,000 | |
| | B. 執行済額 | 6,000 | 6,000 | 6,000 | 7,000 | 7,000 | |
| | うち交付金充当額 | 4,800 | 4,800 | 4,800 | 5,600 | 5,600 | |
| | 次年度繰越額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 執行率(%) (B/A) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 100.0% | |
| 予算の状況の説明 | | 計画どおり執行し、適正であったと考える。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 26年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | いぜな尚円王まつりの開催支援 | | 目標 (開催支援) | (開催支援) | (開催支援) | (開催支援) | |
| | | 実績 | 開催支援 | 開催支援 | 開催支援 | 開催支援 | |
| 達成状況説明 | 開催にあたり、実行委員会への支援を行うことで、例年と同様の規模で開催を行うことができた。イベントの実施にあたっては、各種体験プログラムとして遊具体験などを実施したほか、誘客のためのステージイベントとして、キャラクターショーやアーティストライブの実施、レーザーショー及び打上花火等を実施した。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 目標値(年度) |
| | | | 目標 () | (2,000人) | (2,000人) | (1,040人) | () |
| | 来場者数:1,040人以上 | | 実績 | | 1,040人 | 740人 | 2,475人 |
| 進捗状況説明 | いぜな尚円王まつりの来場者数については、2日間で2,475人となっており、目標を達成した。天候に恵まれたこと、イベントプログラムの充実化を図ったことで、来場者数が増加したと考える。 | | | | | | |

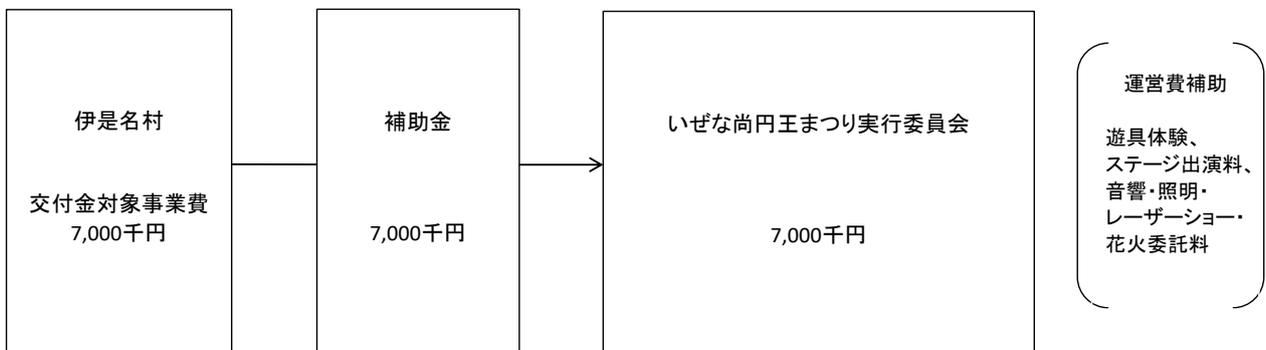
| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|--|---|
| | <p>・今回イベントのアンケート調査を実施したところ、回答者の9割から「満足している」という回答が得られたが、認知度については未だ課題があると考えられており、周知方法等について検討する必要がある。</p> | <p>・尚円王関連の展示ブース、史跡等を活用したツアーを試験的に企画したが、好評であったので継続的に実施することで、本イベントの独自性を確立し、特色あるイベントであることを島外に広くPRすることを検討する。</p> |

今後の取り組み方針

・本イベントにおいて「尚円王が生まれた島」としての特殊性を活用し、試験的に実施した「尚円王歴史関連ツアー」をプログラムに取り入れ、本村の玄関口であるターミナル内には、観光客の目に留まるよう「尚円王の歴史文化ブース」を設置する。本イベント及び本村の特色ある歴史を紹介することで、本村の魅力を発信し認知度向上を図り、来場者数の増加及びリピーターの確保に努め、関係機関と連携し、HPやSNSを最大限活用しPRしていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金 | | 交付対象外経費 |
|-------|---------|-------|--------|---------|
| | | 充当額 | 市町村負担金 | |
| 7,000 | 7,000 | 5,600 | 1,400 | 0 |



| 資金の流れ、費目・点検評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|---------------|----|--------------------------------|---------------------------------------|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○実行委員会形式の団体への支出であり、選定については妥当であったと考える。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○予算規模について事業内容に見合っており適正であった。 |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適正であった。 |

| | | | | | | | |
|---|--|--|---|----------|--------------------|--------------------------------|---------|
| 市町村名 | 伊是名村 | | | | | | |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-④ | 「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-1-(4)-7 | |
| 担当部署名 | 教育振興課 | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-1-(1) | |
| 事業内容 | 魅力ある歴史の島づくりを進め、更なる誘致による観光振興を図るため、PR活動を行う一方、尚円王に関する史跡等の整備・復元を行う。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| | | (a) 当初予算額 | 76,886 | 80,000 | 42,606 | 31,900 | 12,000 |
| | | (b) 予算現額 | 95,571 | 80,491 | 34,350 | 31,900 | 12,000 |
| | | (c) 増減額(b-a) | 18,685 | 491 | ▲ 8,256 | 0 | 0 |
| | | (d) 繰越額 | — | — | — | — | — |
| | A. 計(b+d) | | 95,571 | 80,491 | 34,350 | 31,900 | 12,000 |
| | B. 執行済額 | | 76,354 | 73,075 | 32,586 | 29,028 | 11,977 |
| | うち交付金充当額 | | 61,082 | 58,459 | 26,068 | 23,222 | 9,581 |
| | 次年度繰越額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 79.9% | 90.8% | 94.9% | 91.0% | 99.8% |
| 予算の状況の説明 | | 計画どおり執行し、適正であったと考える。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 | |
| | 旧蔵品修復・復元業務 | | 目標 (実施) | (実施) | (実施) | () | |
| | | | 実績 | 実施 | 実施 | 実施 | |
| 達成状況説明 | | 旧蔵品修復復元業務について、銘苅家・名嘉家の旧蔵品である、古文書、漆器類、金工品、陶器類の修復や復元、図面作成を行った。 | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | 旧蔵品を活用した祭事への来場者数:100人 | | 目標 () | (100人) | () | () | () |
| | | | 実績 | 232人 | | | |
| | 進捗状況説明 | | 旧蔵品の複製品を用いた祭祀行事である「公事清明祭」への来場者数を計測したところ、232人が来場しており、目標値を大きく上回ることができた。 | | | | |

| 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|---|--|--|
| 取組の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・旧蔵品の修復については、熟練した技術を要する職人による手作業となることから、1件あたりの作業時間が膨大となるため、計画的且つ継続した事業の実施に取り組む必要がある。 ・修復した旧蔵品等については、文化財として保存を図るとともに、学校教育等の教材として活用することによる島内の子どもたちが生まれた島に誇りを持っていけるような機会の醸成に繋げる、尚円王生誕の地としての本村のPR等に繋げるなど、積極的な利活用を図っていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・旧蔵品の修復にあたっては、複数年度を見通した修復計画を検討することで、計画的な事業実施に資すると考えられる。 ・保存修理の完了した史跡、旧蔵品について積極的な活用・情報発信を図っていくとともに、利活用状況等を適切に把握することで、PR方法や活用方法の見直し等について適宜行えるようになるものと考えられる。 |
| | 今後の取り組み方針 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・修復対象品目の選定にあたっては、事前に必要性、緊急性等を勘案し、翌年度以降にどの品目を修理・復元の対象とするかを事前に検討しておくとともに、劣化具合等を継続的に把握することで、必要に応じて優先度の再検討を行い、事業を実施していく。 ・修復が完了した文化財については、ホームページ等を活用して情報発信を行うほか、観光資源としてだけでなく、地域における文化財への意識高揚等を図る取り組みを実施する。併せて誘客等の状況を把握するにあたり、整備した文化財やそのレプリカを活用した祭事等への来場者の把握を行うなど、可能な限り活用状況の把握に努めていく。 | | |

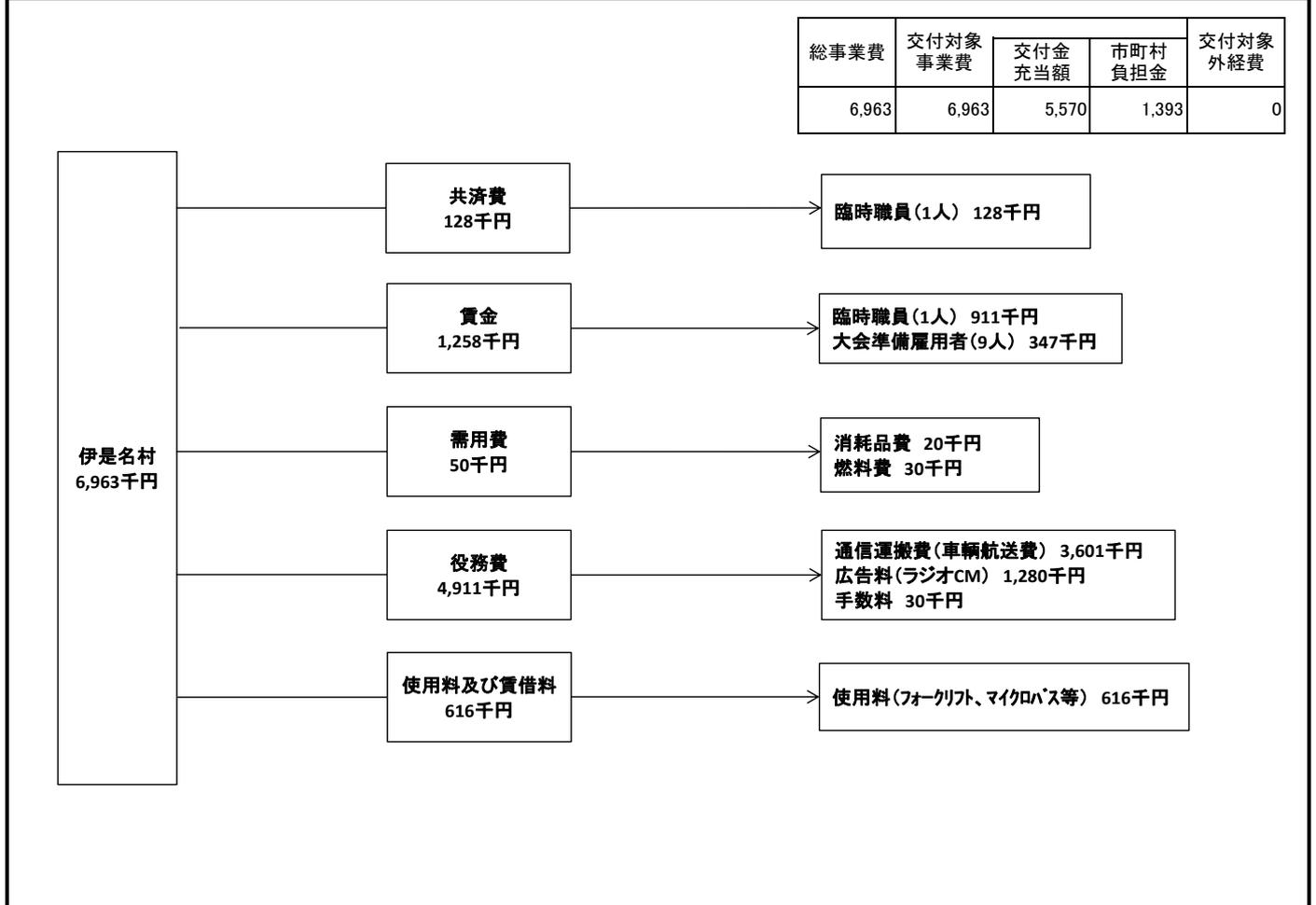
| 資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) | | | | | |
|---|--------|---------|--------|--------|---------|
| | 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
| | 11,977 | 11,977 | 9,581 | 2,396 | 0 |
| <pre> graph LR A[伊是名村 11,977千円] --> B[委託料 11,977千円] B --> C[一般財団法人沖縄美ら島財団 11,977千円] C --- D["銘苅家・名嘉家旧蔵品 修復復元業務"] </pre> | | | | | |

| 資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|--|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | <ul style="list-style-type: none"> ○業務の特殊性を踏まえて特命随契により契約したが、適正な価格かどうかの判断材料として複数の業者からの見積りを徴収し比較していることから、適正であったと考える。 ○予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。 ○実績により書類等を精査し、委託料を確定しており、妥当と考える。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|---|---|--------------|------------------------|--------------|----------|---------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-⑤ | 伊是名モータースポーツ支援事業 | | 沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-7 | | |
| 担当部課名 | 建設環境課 | 事業実施(予定)年度 | 平成26年度～令和3年度 | 沖縄振興基本方針 該当箇所 | 観光リゾート産業の振興 | | |
| 事業内容 | 観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 7,317 | 17,942 | 15,030 | 11,722 | 14,732 |
| | | (b) 予算現額 | 15,044 | 11,324 | 12,372 | 11,722 | 10,934 |
| | | (c) 増減額(b-a) | 7,727 | ▲ 6,618 | ▲ 2,658 | 0 | ▲ 3,798 |
| | | (d) 繰越額 | - | - | - | - | - |
| | A. 計(b+d) | | 15,044 | 11,324 | 12,372 | 11,722 | 10,934 |
| | B. 執行済額 | | 12,404 | 11,324 | 12,336 | 10,282 | 6,963 |
| | うち交付金充当額 | | 9,922 | 9,059 | 9,868 | 8,225 | 5,570 |
| | 次年度繰越額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 82.5% | 100.0% | 99.7% | 87.7% | 63.7% |
| 予算の状況の説明 | | 3大会分の中止が見込まれたため3,798千円減額したが、天候の影響等により結果的に4大会が中止となったこと及び臨時職員の中途退職により、3,971千円と36%程度の不用が生じた。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | ドラッグレース大会の開催:2回 | 目標 | (開催支援) | (3回) | (2回) | (2回) | |
| | | 実績 | 開催支援 | 3回 | 2回 | 2回 | |
| | スーパードリフト大会の開催:3回 | 目標 | (開催支援) | (3回) | (2回) | (3回) | |
| | | 実績 | 開催支援 | 2回 | 1回 | 2回 | |
| | ジムカーナ大会の開催:1回 | 目標 | (開催支援) | (2回) | (3回) | (1回) | |
| 実績 | | 開催支援 | 2回 | 3回 | 1回 | | |
| 達成状況説明 | それぞれの大会における関係スタッフの船賃、レース車及び関係車両の航送料の助成、マスコミを活用しての事前コマースを行う等、開催支援を行った。 ドラッグレース大会及びジムカーナ大会については計画どおり開催することができた。 スーパードリフト大会については、台風の影響で1大会が中止となった。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 目標値(年度) |
| | 来場者数:880人以上 | 目標 | () | (900人) | (560人) | (880人) | () |
| | | 実績 | | 976人 | 914人 | 625人 | |
| | 進捗状況説明 | 天候不良によりスーパードリフト大会が予定よりも1大会中止になったこと及び、開催された大会についても悪天候の影響で来場者が見込みよりも少なかったことにより、71%程度の達成率となっている。 | | | | | |

| 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|---|---|---|
| 取組の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・島外からより多くの観戦者を受け入れられるようにするためには、通常の船舶の運航タイムスケジュールでは日帰りが困難であるなどの課題が生じるので対応が必要。 ・イベント宣伝方法はラジオCM(FM沖縄・RBCラジオ)と主催者が作成したイベントポスターを主催者のホームページやSNS、カーショップ等に掲示する方法が主である。 ・来場者は子どもから大人、家族連れなど幅広い年齢層が来場しているが、イベントが長時間にわたることから、夏場の暑い時期や冬場の寒い時期、急な大雨などはイベントの途中で帰るお客さんも多くいた。また、レース観戦だけでなく幅広い年齢層が楽しめるコンテンツも必要である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・大会開催時には、日帰りも可能な運航スケジュール計画(臨時便の増便)を検討することで対応が可能となる。 ・大会認知度の向上に向けたPR活動について、県内外への告知方法、SNSでの発信等、主催者と調整し、見直しを行う必要がある。 ・あらゆる天候にも極力対応できるように改善を図り、緊急時にも対応できるような体制を整える。また、主催者と調整しながら、来場者がレース観戦以外に楽しめるコンテンツを用意する必要がある。 |
| | 今後の取り組み方針 | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・島外からより多くの観戦者を受け入れるため、引き続き船舶の運航日程の変更(臨時便の増便)を行うことにより、イベント時の需要に合わせて対応していく。 ・本島や県外への告知(ポスター掲示等)やインターネットなど、より活用した宣伝方法を主催者と協力しながら新しい方法を模索、実行していくほか、大会の模様を新聞に掲載するなどの取り組みができないか検討し、より多くの人にモータースポーツの楽しさ、魅力を発信していけるよう努めていく。 ・大会に付加価値を付けるため、幅広い年齢層にも対応するコンテンツを用意できるように、主催者と調整しながら検討していく。 | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



| 資金の流 れ、費目 ・ | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|-------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | <ul style="list-style-type: none"> ○見積により選定しており、妥当であったと考える。 ○事業内容に見合った予算規模であり、適正であったと考える。 ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適正であった。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|---|--|--|--------------|------------|--------------------|--------------|-----------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-⑥ | いいな運天港いちゃり場まつり支援事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-7 | |
| 担当部署名 | 商工観光課 | 事業実施(予定)年度 | 平成26年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 観光リゾート産業の振興 | |
| 事業内容 | 三村の交流を図るとともに、観光誘客を促進するため、伊是名村・伊平屋村・今帰仁村の三村共同で、「いいな運天港いちゃり場まつり」を支援する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| | | (b) 予算現額 | 800 | 1,100 | 1,100 | 1,300 | 1,300 |
| | | (c) 増減額(b-a) | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,300 | 1,300 |
| | | (d) 繰越額 | 300 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | A. 計(b+d) | — | — | — | — | — |
| | B. 執行済額 | | 1,100 | 1,100 | 1,100 | 1,300 | 1,300 |
| | うち交付金充当額 | | 1,093 | 1,100 | 1,064 | 1,232 | 1,219 |
| | 次年度繰越額 | | 874 | 880 | 851 | 985 | 974 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 99.4% | 100.0% | 96.7% | 94.8% | 93.8% |
| 予算の状況の説明 | | 概ね計画どおり執行し、適正であったと考える。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援 | | 目標 (支援実施) | (支援実施) | (支援実施) | (支援実施) | |
| | | | 実績 支援実施 | 支援実施 | 支援実施 | 支援実施 | |
| 達成状況説明 | 活動目標を達成するために、「いいな運天港いちゃり場まつり」の支援を行った。昨年引き続き羽地内海のフェリー遊覧ツアーを実施するなど、イベントへの誘客に向けた取り組みを実施することができた。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(30年度) |
| | 来場者数:1,100人以上 | | 目標 () | (1,100人) | () | () | () |
| | | | 実績 | 1,121人 | | | |
| | 進捗状況説明 | 当日は悪天候であったが、羽地内海の遊覧ツアーの実施や、特産品販売等のPRIにより、目標値を上回る1,121人の来場者数であった。また、「いいな運天港いちゃり場まつり」を実施することにより、三村の特産品の販売や、地元の子どもや婦人会などによる芸能演舞、演奏等のステージ参加、合同での準備等をとおして、三村の住民同士の人的、文化的、経済的な交流を図ることができた。 | | | | | |

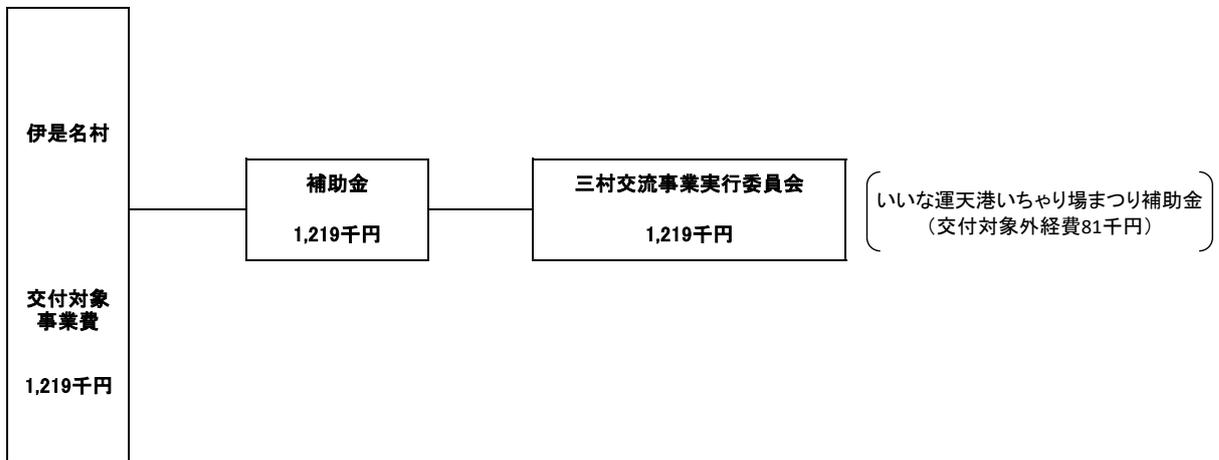
| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|--|--|
| | <p>・会場である運天港は、市街地から離れた場所にあるため、三村以外からの誘客を行うことが難しい状況にある。</p> | <p>・SNSを活用した効果的なPR方法や、祭りの来場者などにアンケートを実施するなど、来場者数の増加を図るとともに、リピーターの確保に努める必要がある。また、他市町村のイベント時期と被らないよう、開催日の検討も必要である。</p> |

今後の取り組み方針

・今帰仁村、伊平屋村、本村の三村が共同で実施する連携事業であることから、足並みを揃えて取り組んでいけるよう、綿密に連絡を取りながら適時合合を行い、三村の連携を強化する。次年度においては、好評である遊覧船の取り組みについては継続し、特産品の出品や伝統行事の紹介等、三村独自の特色を活かした取り組みを検討し、イベントの魅力向上及び三村の魅力を効果的にPRできるよう努めていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金 | | 交付対象外経費 |
|-------|---------|-----|--------|---------|
| | | 充当額 | 市町村負担金 | |
| 1,300 | 1,219 | 974 | 245 | 81 |



| 資金の 使途の 流れ、 点検 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|-------------------------------|----|-------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○支出先は三村交流事業実行委員会(事務局・今帰仁村)への補助金であり、適切である。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○予算規模についても事業内容に見合った規模を補助金として支出しており、適正であった。 |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限られているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | | |
|--|--|---|---------------------------------------|-----------------------|--------------------|-------------|---------|-----|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-⑦ | 沖縄らしい風景づくり推進事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-1-(6)-7 | | |
| 担当部課名 | 企画政策課 | 事業実施(予定)年度 | 平成26年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 沖縄らしい風景づくり | | |
| 事業内容 | 魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体を支援する。 | | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | | |
| | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 4,400 | 5,750 | 1,000 | 7,000 | 1,000 | |
| | | (b) 予算現額 | 4,400 | 1,000 | 7,000 | 1,000 | 1,000 | |
| | | (c) 増減額(b-a) | 0 | ▲ 4,750 | 6,000 | ▲ 6,000 | 0 | |
| | | (d) 繰越額 | — | — | — | — | — | |
| | A. 計(b+d) | | 4,400 | 1,000 | 7,000 | 1,000 | 1,000 | |
| | B. 執行済額 | | 400 | 1,000 | 6,645 | 1,000 | 1,000 | |
| | うち交付金充当額 | | 320 | 800 | 5,316 | 800 | 800 | |
| | 次年度繰越額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 執行率(%) (B/A) | | 9.1% | 100.0% | 94.9% | 100.0% | 100.0% | |
| 予算の状況の説明 | | 当初計画通り適切な執行ができた。 | | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | | |
| | 景観形成への支援 団体支援 5団体 | | 目標 (赤瓦助成1件 石垣助成1件 団体助成5団体) | (団体支援5団体 赤瓦助成1件) | (団体支援5団体) | 団体支援5団体 | | |
| | | | 実績 団体助成5団体 | 団体支援5団体 赤瓦助成1件 | 団体支援5団体 | 団体支援5団体 | | |
| 達成状況説明 | 景観形成活動団体(5団体)へ助成し、各団体が自発的に景観形成に取り組んだことで、沖縄らしい景観を保持し観光に貢献することができた。 | | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) | |
| | 観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。 | | 目標 | () | (80%) | () | () | () |
| | | | 実績 | | 81% | | | |
| | 進捗状況説明 | 観光客の満足度については、観光客が多く来島するイベント時に合わせ、アンケート調査を実施した。100人を対象に調査を実施した結果、満足度81%の回答を得ることができ、目標値を達成することができた。 | | | | | | |

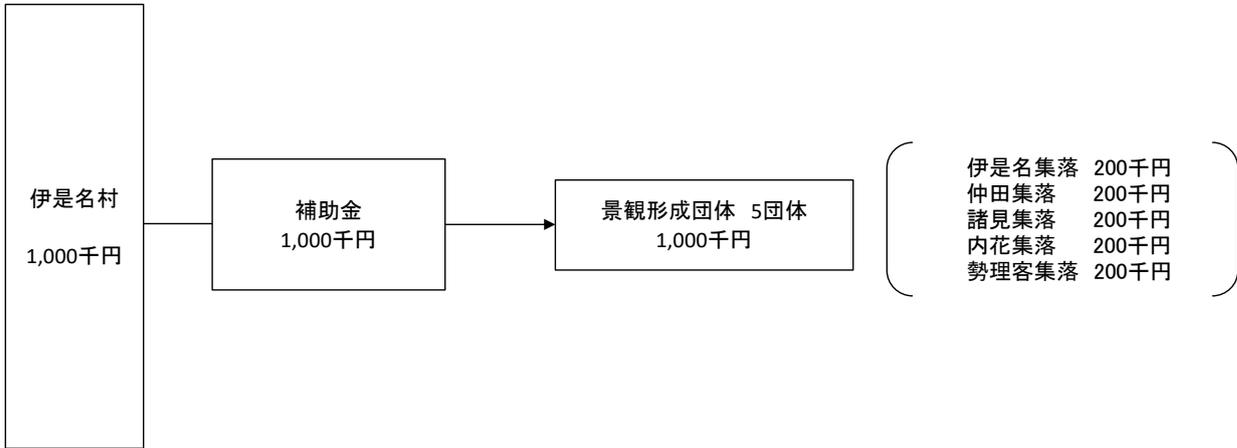
| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|---|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・団体の活動時期にバラつきがあり、イベント時期に合わせて景観形成活動を行う団体もあれば、そうでない団体もあるため、観光客への満足度調査、効果検証がしづらい。 ・集落の景観は潤っているものの、各団体が景観形成を行った箇所が、観光客からするとわかりにくい箇所もあった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・今後も満足度調査を実施していくため、観光客が多数訪れるイベント時期に合わせて景観形成活動を実施したほうが、活動の成果について把握しやすく、また事業の改善点の洗い出しもしやすい。 ・景観形成活動の実施箇所についても、各団体と調整し、場所の選定・見直しを行う必要があると考える。 |

今後の取り組み方針

・景観形成活動団体(5団体)の代表者と調整し、実施時期や実施箇所について見直しながら、沖縄らしい魅力的な観光地としての景観形成に努め、観光客が訪れる箇所を重点的に事業の展開を図る。また、満足度調査についても引き続き実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|-------|---------|--------|--------|---------|
| 1,000 | 1,000 | 800 | 200 | 0 |



| 資金の流 れ、費 目・ 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|-------------------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○ 交付要綱に基づき決定しており、妥当である。 ○ 予定通り執行されており、妥当である。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○ 実績報告に基づき書類等検査し、経費については対象経費に限定されている。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

市町村名 伊是名村

平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】

事業番号・事業名 1-⑧ 尚円王マラソン大会支援事業 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 第3章-3-(12)-7

担当部課名 商工観光課 事業実施(予定)年度 平成28年度～令和3年度 沖縄振興基本方針該当箇所 観光リゾート産業の振興 III-1-(1)

事業内容 尚円王マラソン大会の受入体制の強化、イメージアップを図るため、大会運営を支援する。

効果発現年度 当年度 後年度(年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 | 年度 |
|--|----------------------|--------|--------|-------|----|----|
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | | | | | |
| | (a) 当初予算額 | 11,000 | 5,000 | 3,500 | | |
| | (b) 予算現額 | 11,000 | 5,000 | 3,500 | | |
| | (c) 増減額(b-a) | 0 | 0 | 0 | | |
| | (d) 繰越額 | - | - | - | | |
| | A. 計(b+d) | 11,000 | 5,000 | 3,500 | | |
| | B. 執行済額 | 11,000 | 5,000 | 3,500 | | |
| | うち交付金充当額 | 8,800 | 4,000 | 2,800 | | |
| 次年度繰越額 | 0 | | | | | |
| 執行率(%) (B/A) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | | | |
| 予算の状況の説明 | 計画どおり執行し、適正であったと考える。 | | | | | |

| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | 達成状況 | | | |
|----------------|---|----------------|------------|---------|---------|
| | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 |
| | | 尚円王マラソン大会の開催支援 | 目標 (大会の支援) | (大会の支援) | (大会の支援) |
| | 実績 | 大会の支援 | 大会の支援 | 大会の支援 | |
| 達成状況説明 | 開催にあたり、実行委員会への支援を行うことで、例年と同様の規模で開催を行うことができた。3km、5km、10km、ハーフのコースを設定し、大会に係る備品や消耗品等を調達した。 | | | | |

| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) | |
|----------------|--|---------------------|--------|--------|-----|---------|-----|
| | | 島外からのエントリー者数:293人以上 | 目標 () | (293人) | () | () | () |
| | | | 実績 | 171人 | | | |
| 進捗状況説明 | 参加者については、前年度より島外参加者が増えたが、目標の293人を下回り目標達成には至らなかった。要因としては、新聞、ネットを活用し周知したが、告知等の時期が遅く宣伝不足であった事や、前回はフェリーの運航を変更し日帰りプランを設けていたが、今回は設けなかったことなどが考えられる。 | | | | | | |

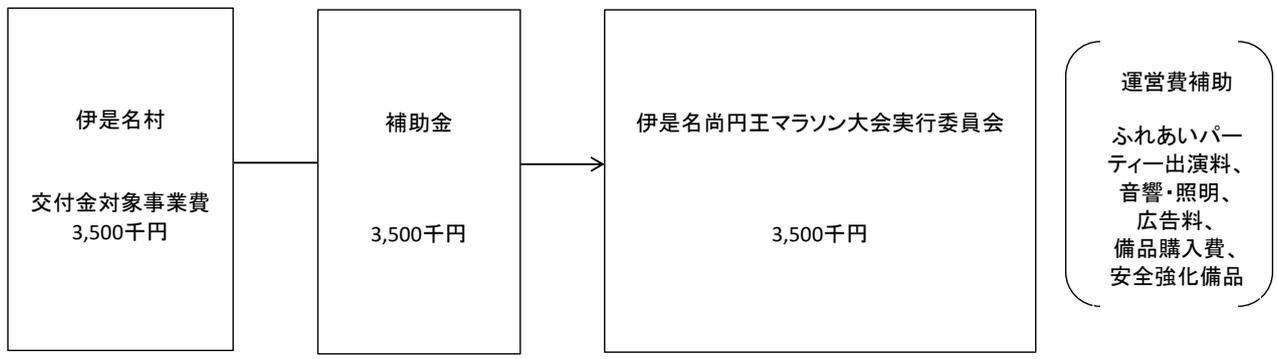
| | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|---|--|
| 取組の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣における市町村の類似イベントとの重複を避け開催したが、告知等の時期が遅く宣伝不足であったことから、周知、広告、募集方法等について検討していく必要がある。 ・今回は日帰りプランを設けなかったことから、宿の予約等に戸惑いが生じたという声があった。 | <ul style="list-style-type: none"> ・近隣市町村の類似イベントとの重複を避けるため、毎年度の大会開催時期を固定化し、HPやSNSを活用し発信する。また、マスメディアや人気サイトを活用し、大会の告知を早めに行う。 ・地理的不利性による参加者心理を考慮し、参加者が知り得たい宿泊施設の情報や本村までの交通ルート等の情報を、宣伝、募集段階から周知することで、参加してもらいやすい状況をつくる必要がある。また、前大会参加者へDMで大会案内を行い、参加者の満足度を高める取り組みを実施し、リピーターを増やすことが必要である。 |

今後の取り組み方針

- ・毎年度の大会開催時期を固定化することで本大会を定着させ、マスメディアや人気サイト等を活用し情報発信することで認知度の向上を図っていく。
- ・家族やチームで気軽に参加できるようなコースプランを形成し、島外からの参加者に配慮した情報発信に努める。また、前大会参加者へ大会の案内を行う際に、大会情報だけでなく、伊是名島の魅力を併せて伝えることでリピーターの増加を図っていく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

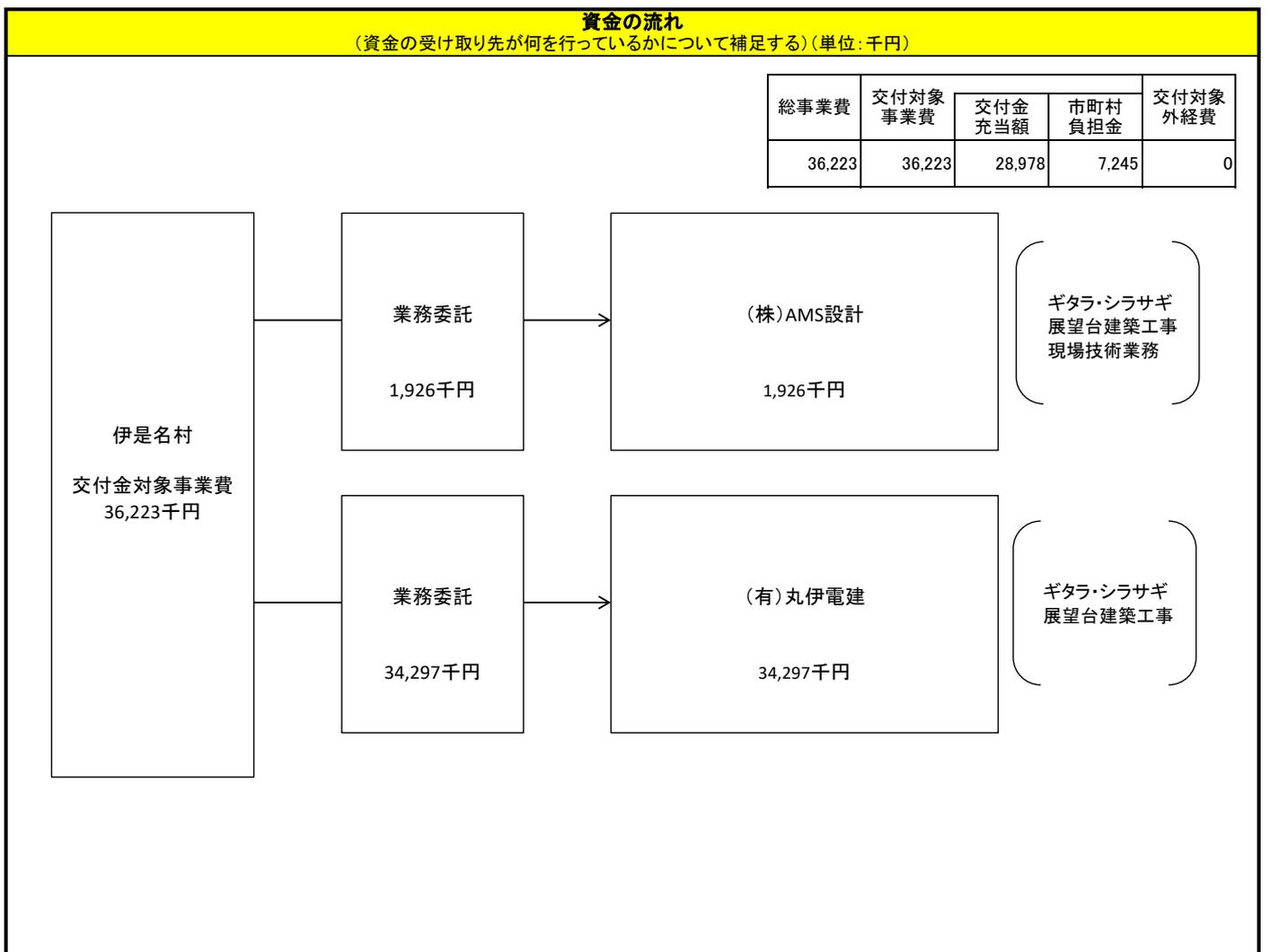
| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|-------|---------|--------|--------|---------|
| 3,500 | 3,500 | 2,800 | 700 | 0 |



| 資金の流し、点検項目 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|------------|----|--------------------------------|---------------------------------------|
| 資金の流し、点検項目 | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○実行委員会形式の団体への支出であり、選定については妥当であったと考える。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○予算規模について事業内容に見合っており適正であった。 |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・用途目的について、支出調書・書類により確認を行い適正であった。 |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|--|--|-------------|--------------|--------------------|--------------|-----------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 1-⑩ | 観光施設整備事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-7 | |
| 担当部署名 | 商工観光課 | 事業実施(予定)年度 | 平成29年度～30年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 観光リゾート産業の振興 | | |
| 事業内容 | 本村の観光名所である二見ヶ浦海岸を一望できる展望台の整備を行う。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 () | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | 29年度 | 30年度 | 年度 | 年度 | 年度 | |
| | | (a) 当初予算額 | 2,337 | 35,416 | | | |
| | | (b) 予算現額 | 2,719 | 36,223 | | | |
| | | (c) 増減額(b-a) | 382 | 807 | | | |
| | | (d) 繰越額 | — | — | | | |
| | A. 計(b+d) | | 2,719 | 36,223 | | | |
| | B. 執行済額 | | 2,719 | 36,223 | | | |
| | うち交付金充当額 | | 2,175 | 28,978 | | | |
| | 次年度繰越額 | | 0 | 0 | | | |
| | 執行率(%) (B/A) | | 100.0% | 100.0% | | | |
| 予算の状況の説明 | | 現場の変更により807千円増額したが、活動目標を計画どおり達成するためのものであり、適正な予算執行であったと考える。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 29年度 | 30年度 | 年度 | 年度 | |
| | 展望台整備の実施 | | 目標 (実施) | (実施) | () | () | |
| | | | 実績 実施 | 実施 | | | |
| 達成状況説明 | 地域の観光資源である二見ヶ浦海岸を一望できる展望台を計画どおり整備した。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 29年度 | 30年度 | 年度 | 目標値(R1年度) |
| | 展望台整備の完了 | | 目標 () | (完了) | (完了) | () | () |
| | | | 実績 | 完了 | 完了 | | |
| | 【R1成果目標】入域観光客数 | | 目標 () | () | () | () | 36,494人 |
| 進捗状況説明 | 本村特有の自然を活かした魅力の発信による観光誘客を推進するため、観光名所である二見ヶ浦海岸を一望できる展望台整備を完了した。 | | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|--|---|---|
| | <p>・今後は観光客や地域住民の利用促進に向けて取り組んでいく必要がある。</p> | <p>・利便性の向上を図り、事業効果を高めるため、展望台へのアクセス道路の整備についても検討する。</p> |
| 今後の取り組み方針 | | |
| <p>・観光客等の利用者を対象にアンケートによる満足度調査等を実施し、本事業の検証を行うとともに、成果目標である令和元年度の入域観光客数を上回るよう、展望台を含めた本村の観光資源を総体的に活用しながら観光誘客の取り組みを行っていく。</p> | | |



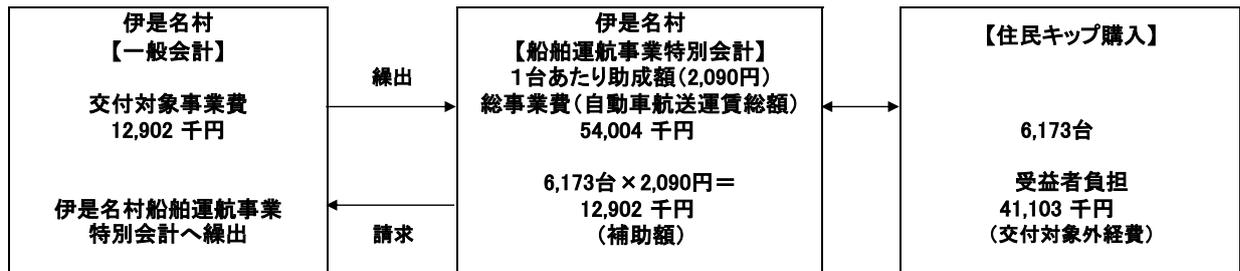
| 資金の流れ、点検評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○支出先の選定については、指名競争入札により選定したので妥当であったと考える。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○予算については、積算基準等に基づき算出していることから適正であったと考える。 |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。 |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | | | | | |
|--|--|---|--------------------|------------|--------------------|--------------|-------------|----------|--------|----------|--------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 2-① | | 伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業 | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(11)-7 | | | | | |
| | 担当部署名 | 商工観光課 | | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 交通・生活コストの低減 | | | | |
| 事業内容 | | 離島の不利生を解消し、定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港と本村を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。 | | | | | Ⅲ-9 | | | | |
| | 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | 26年度 | | 27年度 | | 28年度 | | 29年度 | | 30年度 | |
| | | (a) 当初予算額 | 11,757 | | 11,757 | | 11,982 | | 13,001 | | 13,063 |
| | (b) 予算現額 | 11,923 | | 12,028 | | 13,060 | | 13,340 | | 13,063 | |
| | (c) 増減額(b-a) | 166 | | 271 | | 1,078 | | 339 | | 0 | |
| | (d) 繰越額 | - | | - | | - | | - | | - | |
| | A. 計(b+d) | 11,923 | | 12,028 | | 13,060 | | 13,340 | | 13,063 | |
| | B. 執行済額 | 11,923 | | 12,028 | | 13,060 | | 13,340 | | 12,902 | |
| | うち交付金充当額 | 9,538 | | 9,622 | | 10,448 | | 10,672 | | 10,321 | |
| | 次年度繰越額 | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | | 0 | |
| | 執行率(%) (B/A) | 100.0% | | 100.0% | | 100.0% | | 100.0% | | 98.8% | |
| 予算の状況の説明 | 当初は、過去実績を踏まえ年間利用台数を6,250台と見込んでいたが、気象条件の影響等での欠航により、6,173台に留まったため、執行率が若干下がったが、概ね計画どおり執行されており適正であったと考える。 | | | | | | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | | | | | |
| | | | 27年度 | | 28年度 | | 29年度 | | 30年度 | | |
| | 自動車航送コスト支援の実施 | | 目標 | (負担軽減) | | (負担軽減) | | (負担軽減) | | (負担軽減) | |
| | | 実績 | 負担軽減 | | 負担軽減 | | 負担軽減 | | 負担軽減 | | |
| 達成状況説明 | 村内住民の沖縄本島との唯一の交通手段である船舶において、車輛航送運賃の助成を行ったことで、定期的に本島との往来を行うに際しての不利性が緩和されたことで、教育・医療・福祉の充実と定住条件の向上・村民の負担軽減に寄与した。 | | | | | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) | | | | |
| | 沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図られたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。 | | 目標 | () | (80%) | () | () | () | | | |
| | | | 実績 | | 96% | | | | | | |
| 進捗状況説明 | 本事業により定住条件の構築が図られたかを検証するため、村民を対象にアンケートを実施した。95.6%が肯定的な意見となっており、目標を達成した。 | | | | | | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|---|---|---|
| | <p>・土日・祝祭日や大型連休などにおいては、船舶の利用者が増え、旅客・自動車航送券の発券所が混雑し、船の定時運航に支障をきたす場合がある。要因としては、乗船券購入と併せて負担軽減申請を行うため発券所の混雑を招いている事や、窓口の対応が限られた人員である事などが考えられる。</p> | <p>・窓口の混雑解消に向けて、事前の申請書記入の依頼を広報誌や防災無線等で周知徹底することで、出航前の混雑緩和に寄与し、定時運航が確保できるようになると考えられる。</p> |
| 今後の取り組み方針 | | |
| <p>・負担軽減申請について、事前に申請書に記入の上乗船券を購入していただけるよう広報等を行い、住民に対して引き続き協力を依頼していく。併せて、窓口対応が限られている現状の見直しとして、混雑解消を目的としたQRコードシステムの導入等について検討を行っていく。</p> | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金 | | 交付対象外経費 |
|--------|---------|--------|--------|---------|
| | | 充当額 | 市町村負担金 | |
| 54,004 | 12,902 | 10,321 | 2,581 | 41,103 |



| 資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|--------------------------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○船舶運航事業特別会計において、自動車航送券の発券及び集計を取り扱っていることから支払先は妥当と考えられる。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○住民が航送券を購入した実績を踏まえて事業を実施しており適正な予算規模と考える。 |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○7割強を受益者が負担していることから、負担関係は妥当であると考えられる。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |

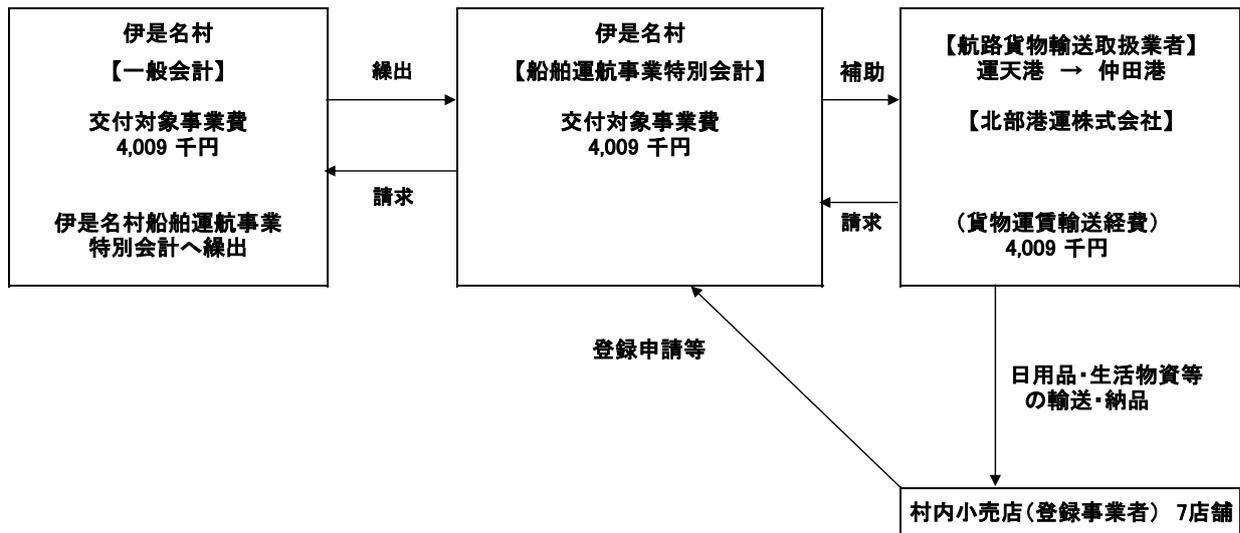
| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|--|--|--------------------|------------|--------------|--------------|-------------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 2-② 離島食品・日用品輸送費等支援実証事業 | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | | 第3章-3-(11)-7 | | |
| | 担当部署名 | 商工観光課 | | 事業実施(予定)年度 | 平成28年度～令和3年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 交通・生活コストの低減 |
| 事業内容 | | 離島における割高な生活コストの軽減を図るため、沖縄本島から本村へ輸送される食品や衣類・履物、日用品、医薬品、保健医療用具・器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援を実施する。 | | | | | Ⅲ-9 |
| | 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 | 年度 | |
| | | (a) 当初予算額 | 7,655 | 5,682 | 4,519 | | |
| | (b) 予算現額 | 2,681 | 5,682 | 4,519 | | | |
| | (c) 増減額(b-a) | ▲ 4,974 | 0 | 0 | | | |
| | (d) 繰越額 | — | — | — | | | |
| | A. 計(b+d) | 2,681 | 5,682 | 4,519 | | | |
| | B. 執行済額 | 2,681 | 3,954 | 4,009 | | | |
| | うち交付金充当額 | 2,144 | 3,162 | 3,207 | | | |
| | 次年度繰越額 | 0 | 0 | 0 | | | |
| | 執行率(%) (B/A) | 100% | 70% | 89% | | | |
| 予算の状況の説明 | | 昨年度の実績値を基に予算措置していたが、輸送実績が見込みより低下したことにより510千円の不用額が生じた。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 | |
| | 食品、衣類、履物、日用品、医薬品、保健医療用具、器具、家庭用電気製品等の輸送経費及び作業経費の支援 | | 目標 (負担軽減) | (負担軽減) | (負担軽減) | () | |
| | | | 実績 負担軽減 | 負担軽減 | 負担軽減 | | |
| 達成状況説明 | 村内住民の生活物資ルートである船舶航路事業において、航路貨物取扱業者への貨物運賃輸送経費の助成を行ったことで、本島と比較して割高な生活コストの負担軽減が図られている。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(27年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | 生活必需品等の価格について沖縄本島を100とした場合の本村の指標における事業実施前との差 | | 目標 (129.5) | (-2.6以下) | () | () | () |
| | | | 実績 | -6.9 | | | |
| | 進捗状況説明 | H28年指標(126.9)よりもH30年では(120.0)と価格差は縮小している。 | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|---|--|
| | <p>・住民の事業に対する認知度が低い状況である。また、価格の設定及び軽減商品については事業者側の裁量であるため、消費者は何がどれくらい安くなっているのかがわかりづらいところがある。</p> | <p>・消費者に対してわかりやすいように、コスト軽減した商品及び軽減価格を明瞭に表示するよう事業者に指導する必要がある。</p> |

| 今後の取り組み方針 |
|--|
| <p>・消費者の誰もがコスト軽減の実感を得られるよう効果的な取り組みとするべく、次年度については一旦事業を中断し、事業のあり方や進め方について見直しを図る。</p> |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | | 交付対象外経費 |
|-------|---------|--------|-----|---------|
| | | 市町村負担金 | | |
| 4,009 | 4,009 | 3,207 | 802 | 0 |



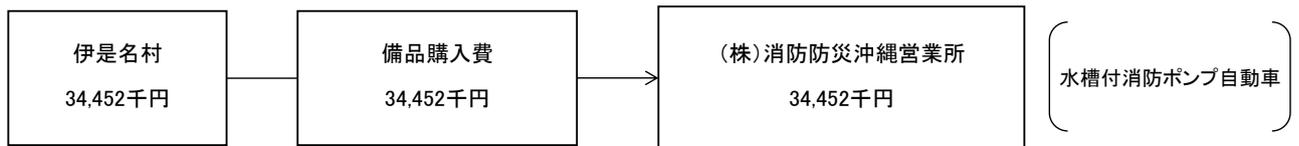
| 資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価 | 評価 | 点 検 項 目 | 評価に関する説明 |
|---------------------------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○島内への生活輸送物資の唯一の輸送ルートである航路の貨物輸送取扱業者であり、支出先の選定方法は妥当と考えられる。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○島内への貨物輸送実績を踏まえ、予算規模としては適正である。 |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |

| | | | | | | | |
|--|--|--------------|-------------|--------------|--------------------|-------------|-----------|
| 市町村名 | 伊是名村 | | | | | | |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 2-③ | 伊是名村救急体制強化事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-2-(4)-イ | |
| 担当部署名 | 総務課 | 事業実施(予定)年度 | 平成26年度、30年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 災害に強い県土づくりと防災体制の強化 | | |
| 事業内容 | 災害時に住民や観光客の安全を確保するため、緊急車両(消防車)を整備する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R1年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | 26年度 | 30年度 | 年度 | 年度 | 年度 | |
| | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 10,000 | 42,000 | | | |
| | | (b) 予算現額 | 10,000 | 34,452 | | | |
| | | (c) 増減額(b-a) | 0 | ▲ 7,548 | | | |
| | | (d) 繰越額 | - | - | | | |
| | | A. 計(b+d) | 10,000 | 34,452 | | | |
| | | B. 執行済額 | 9,500 | 34,452 | | | |
| | | うち交付金充当額 | 7,600 | 27,561 | | | |
| | | 次年度繰越額 | 0 | 0 | | | |
| | | 執行率(%) (B/A) | 95% | 100% | | | |
| 予算の状況の説明 | 入札残により7,548千円減額したが、事業内容については当初予定どおり実施することができた。 | | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 30年度 | 年度 | 年度 | 年度 | |
| | 緊急車両(消防車)導入の実施 | 目標 | (実施) | () | () | () | |
| | 実績 | 実施 | | | | | |
| 達成状況説明 | 緊急車両(消防車)を計画どおり導入した。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(R1年度) |
| | 緊急車両(消防車)1台の導入完了 | 目標 | () | (完了) | () | () | () |
| | | 実績 | | 完了 | | | |
| | 【令和元年度】消防団の訓練の実施(12回以上/年)により、緊急車両(消防車)の活用のある方を検証する。 | 目標 | () | () | () | () | 12回 |
| 進捗状況説明 | 緊急車両(消防車)の導入が完了し目標を達成したことで、安全性の確保が図られる。 | | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|---|---------------------------------------|--------------------------------|
| | ・消防団が、導入された消防車両を効果的に活用できてこそ安全性が確保される。 | ・導入した消防車両を活用して、定期的に訓練を行う必要がある。 |
| 今後の取り組み方針 | | |
| ・令和元年度以降において、当該消防車両を活用した訓練を定期的に行い、活用のあり方等を関係機関と共有し、事業の後年度効果を検証する。 | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金 | | 交付対象外経費 |
|--------|---------|--------|--------|---------|
| | | 充当額 | 市町村負担金 | |
| 34,452 | 34,452 | 27,561 | 6,891 | 0 |



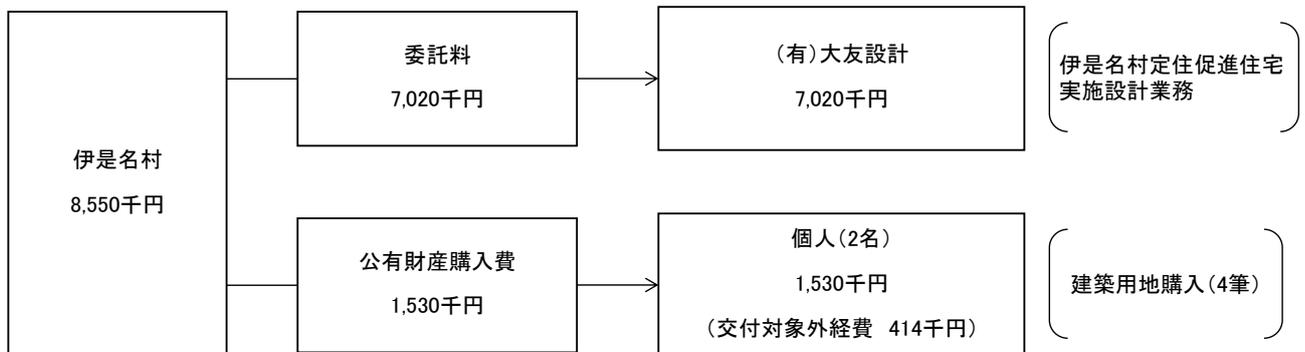
| 資金の 使途の 流れ、 費目・ 点検 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|--------------------------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○支出先の選定については、入札により選定したので妥当であったと考える。 ○予算規模は、事業内容に見合っており適正であった。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○費目・使途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| | | | | | | | |
|--|--|--|--------------|--------|--------------------|---|-----------|
| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 2-④ | 定住促進住宅整備事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(11)-イ | |
| 担当部署名 | 建設環境課 | 事業実施(予定)年度 | 平成30年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9 | |
| 事業内容 | Iターン・Uターンによる移住者等の定住促進を図るため、定住促進住宅を整備する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(R2年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | 30年度 | 年度 | 年度 | 年度 | 年度 | |
| | 予算の状況 | (a)当初予算額 | 15,736 | | | | |
| | | (b)予算現額 | 8,963 | | | | |
| | | (c)増減額(b-a) | ▲6,773 | | | | |
| | | (d)繰越額 | — | | | | |
| | | A.計(b+d) | 8,963 | | | | |
| | B.執行済額 | | 8,550 | | | | |
| | うち交付金充当額 | | 6,840 | | | | |
| | 次年度繰越額 | | 0 | | | | |
| | 執行率(%) (B/A) | | 95% | | | | |
| 予算の状況の説明 | | 設計の精査及び入札残により6,773千円減額したが、活動目標は計画どおり執行しており、適正であったと考える。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 30年度 | 年度 | 年度 | 年度 | |
| | 実施設計の実施 | | 目標 (実施) | () | () | () | |
| | | 実績 | 実施 | | | | |
| 達成状況説明 | 定住促進住宅を整備するための実施設計に計画どおり取り組んだ。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(R2年度) |
| | 実施設計の策定完了 | | 目標 () | (完了) | () | () | () |
| | | | 実績 | 完了 | | | |
| | 【R2年度】 供用開始後1年目の入居世帯数:2世帯 | | 目標 () | () | () | () | 2世帯 |
| 進捗状況説明 | 定住促進住宅を令和元年度に着手するべく、実施設計を完了した。 | | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|---|--|---|
| | <p>・令和元年度において、円滑に事業が遂行されるよう、工事の発注計画等を立て、早期に取り組んでいく必要がある。</p> | <p>・発注に向けた準備に早期に取り組むことにより、入札不調等に備えて事業の計画期間を見込みより長くとることが可能となる。</p> |
| 今後の取り組み方針 | | |
| <p>・令和元年度における交付決定に合わせて事業の執行に向けた入札等の契約手続きを速やかに行えるよう、入札の実施に向けた積算等の精査を早期に終了させ、入札の実施につなげていくとともに、施工時においては施工事業者との連絡体制を密にすることで、進捗管理を徹底し、繰越等が発生しないように努めている。</p> | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金 | | 交付対象外経費 |
|-------|---------|-------|--------|---------|
| | | 充当額 | 市町村負担金 | |
| 8,964 | 8,550 | 6,840 | 1,710 | 414 |



| 資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|--------------------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | <p>○支出先の選定については、指名競争入札により選定したので妥当であったと考える。</p> <p>○予算については、積算基準等に基づき積算したことから適正であったと考える。</p> <p>○費目・用途は事業目的にのみ限定したことから妥当であったと考える。</p> |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|--|-------------------|-----------------------|--------------------|---------------------|--------------------|---------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 3-① | 人材育成事業(日高小との交流事業) | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-5-(3)-1 | |
| 担当部課名 | 教育振興課 | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 豊かな心とたくましい体を育む教育の推進 | | |
| 事業内容 | 異なる生活圏で暮らす子ども達が、それぞれの地域を訪れ、その地域の自然や歴史、生活に触れ、体験学習・交流学习を通して広い視野と協調の精神を養うことを目的として、伊是名村の小学生を北海道に派遣し、日高小学校との交流学習・体験学習を実施した。具体的な取り組みとして、日高小学校(6年生対象)は11月頃、伊是名小学校(6年生対象)は2月頃に各小学校を訪問する。ウインタースポーツ体験や学校訪問を行うとともに、伝統芸能等を相互に紹介し、それぞれの地域の自然や文化について学ばせる取り組みを実施した。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) | | 2,000 | 1,606 | 1,524 | 2,100 | 2,100 |
| | | | 2,000 | 1,606 | 1,570 | 2,100 | 2,100 |
| | | | 0 | 0 | 46 | 0 | 0 |
| | | | - | - | - | - | - |
| | | | 2,000 | 1,606 | 1,570 | 2,100 | 2,100 |
| | B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A) | | 1,978 | 1,533 | 1,570 | 1,903 | 1,700 |
| | | | 1,582 | 1,226 | 1,256 | 1,522 | 1,360 |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 98.9% | 95.5% | 100.0% | 90.6% | 81.0% |
| 予算の状況の説明 | 複数社からの見積もりによる価格の見直しを行った結果、当初積算時に算定した額よりも減となったことから、19%程度の不用が生じたが、予定どおり執行した。 | | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 日高小学校との交流・体験学習の実施 (児童:15名、引率者:5名) | | 目標 (児童12名 引率 5名) | (児童11名 引率 5名) | (児童16名 引率 5名) | (児童15名 引率 5名) | |
| | | 実績 児童11名 引率 5名 | 児童11名 引率 5名 | 児童13名 引率 5名 | 児童14名 引率 5名 | | |
| 達成状況説明 | 計画では児童15人予定していたが14人を派遣した。沖縄とは異なる北海道の自然や生活に触れることで、子供たちの視野を広げ、自然体験や文化交流をとおして互いの地域を理解し、それぞれの地域の自然や伝統文化の大切さを実感してもらうことができた。日高町及び北海道の気候や文化・自然について事前学習を実施したほか、事前に手紙での児童間の自己紹介を実施するなどの事前のやりとりを行った上で、交流会においては村の歴史や自然・文化等について発表するなどの取り組みを実施した。沖縄の伝統のエイサーなどを日高小の児童・地域の方々に披露し、沖縄の文化を伝えた。北海道での交流体験報告会を開き、児童や地域住民に報告したほか、感想文・派遣写真等の展示も行った。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | 保護者へのアンケートで、県外の人との交流により、児童の視野が広がったと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 | | 目標 () | (80%) | () | () | () |
| | | | 実績 | 100% | | | |
| 進捗状況説明 | 島外の人との交流により、児童の視野が広がったと感じたか、という保護者アンケートで、大きく広がった・広がったと全保護者が感じる結果となり、目標は達成された。また、派遣後の児童の変化について、「自分で考えて手伝いをするようになった」「あいさつなど自ら丁寧にできるようになった」「積極性・協調性が身につく、自分の考えや周りへの気配りができるようになり成長を感じた」など、保護者は児童の好意的な変化を感じていた。 | | | | | | |

| | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|---|--|
| 取組の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・事業を効果的かつ円滑に行うには、両校の連携体制が重要になるため、北海道での日程及び交流内容等については、双方で綿密に練り上げ事業に臨む必要がある。 ・環境に違いがあるため、事前に危険予知活動など、安全対策に留意する必要がある。 ・本村においては離島という地域性から容易に他校との交流が行えず、且つ幼小中それぞれ1校しかないため、子ども達は幼少期から同じクラスで同じクラスメイトと中学校を卒業するまで学ぶことになる。このため、児童生徒の視野を広げるための活動には継続して取り組んでいく必要があるが、本事業が目的を達成できているかどうか、検証を行う必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・日高小学校側との連携を図り、相互の共通理解を図る事で円滑な運営に繋がるものとする。 ・島内における条件(環境面や生活スタイル等)とは大きく異なる場合があることから、過去の取組状況等を踏まえ、安全対策を検討していくことで、円滑な事業実施に資するものと考えられる。 ・児童生徒が広い視野を持たせようかアンケートにより検証することができた。今後も可能な指標を設定するなど、成果目標の見直しを行うことで、事業の検証を行えるものとする。 |

| 今後の取り組み方針 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・日高小側と定期的に連絡をとるなど、事業の進捗状況及び内容等について相互に確認を行うことで、円滑な運営が行えるよう取り組んでいく。 ・団体で1つの施設に宿泊することから、担当及び引率者は、宿泊施設マップにて避難通路の事前確認や打ち合わせを事前に十分に行うなど、万一の事態に備えた安全管理・想定を行い、円滑な事業実施に向けて取り組んでいく。 ・30年度の成果目標では、派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか等の指標を検証することができた。今後も可能な指標を設定し、成果目標の見直しを行いながら、事業の検証を実施していく。 |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
|-------|---------|--------|--------|---------|
| 1,700 | 1,700 | 1,360 | 340 | 0 |


```

graph LR
    A[伊是名村  
1,700千円] --> B[委託料  
1,700千円]
    B --> C["(株)ジャンボツアーズ  
1,700千円"]
    subgraph D [平成30年度(第25次)伊是名村少年の翼派遣事業に係る業務]
        E[児童数:14名  
引率者数:5名]
    end
  
```

| 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|----|--------------------------------|--|
| ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○委託事業者は例規に則った選定となっており妥当と考える。 |
| ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○予算規模については事業内容及び児童と引率者の人数から勘案して適正なものであったと考える。 |
| ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○予め受益者負担として参加者が負担する項目を設けていることから応分の負担がなされており、受益者との負担関係については妥当である。 |
| ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |

| 資金の流れ、点検、費目・評価 |
|----------------|
| |

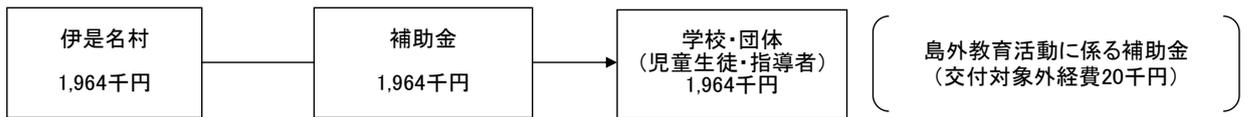
| | | | | | | | |
|---|--|--|------------------------------|---------------|--------------------|--------------------|---------|
| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 3-② | 児童生徒島外諸教育活動支援事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-5-(2)-7 | |
| 担当部課名 | 教育振興課 | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 教育機会の拡充 | |
| 事業内容 | 島外の人との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、島外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会に参加する児童生徒に対し、渡航費を支援する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | (a) 当初予算額 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| | | (b) 予算現額 | 4,230 | 4,230 | 1,700 | 2,060 | 2,040 |
| | | (c) 増減額(b-a) | 4,230 | 1,930 | 2,160 | 2,598 | 2,040 |
| | | (d) 繰越額 | 0 | ▲ 2,300 | 460 | 538 | 0 |
| | | A. 計(b+d) | — | — | — | — | — |
| | B. 執行済額 | | 2,339 | 1,789 | 1,952 | 2,422 | 1,964 |
| | うち交付金充当額 | | 1,871 | 1,431 | 1,561 | 1,937 | 1,571 |
| | 次年度繰越額 | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | | 55.3% | 92.7% | 90.4% | 93.2% | 96.3% |
| | 予算の状況の説明 | | ほぼ計画どおり執行し、適正であったと考える。 | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 島外教育活動への派遣費の支援:6団体 | | 目標 (島外諸教育活動への派遣支援) | 島外諸教育活動への派遣支援 | 島外諸教育活動への派遣支援 | 島外諸教育活動への派遣支援(6団体) | |
| | | | 実績 (島外諸教育活動への派遣(31回実施)) | 島外諸教育活動への派遣支援 | 島外諸教育活動への派遣支援 | 島外諸教育活動への派遣支援(7団体) | |
| 達成状況説明 | 児童生徒が島外諸教育活動に参加するため、離島という地理的条件のために生じる経費(船賃、宿泊費の一部)を7団体に支援することができた。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | 派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。 | | 目標 () | (80%) | () | () | () |
| | | | 実績 | 97.5% | | | |
| | 進捗状況説明 | 児童生徒を島外派遣することで競技力向上や島外児童生徒と交流することによるコミュニケーション能力も身につく、島内ではできない経験をすることができているか、という保護者アンケートを実施した結果、小学生で100%、中学生で95%が島内ではできない経験をすることができたと答えており、目標を達成した。 | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|--|---|
| | <p>・保護者からの意見として、「島内では人数が少なすぎてチームを作る人数すら足りなく、紅白試合すらできない状況であるため有り難い」、「派遣費負担が少なく大変助かっている」、「広い視野を持つきっかけになっている」など好意的に捉えている保護者が大半を占めている。</p> | <p>・これまでは派遣人数としていた成果目標を、日常的に児童・生徒と接している保護者の視点により検証し、客観的評価で本事業の成果を確認することができた。引き続き保護者の理解を得ながら事業を実施していく。</p> |

| 今後の取り組み方針 |
|--|
| <p>・30年度の成果目標について、児童・生徒が島内ではできない経験をすることができたかを保護者に対してアンケート調査を実施し、事業効果を確認することができた。今後も保護者の要望を踏まえながら当該事業を推進していく。</p> |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | | 交付対象外経費 |
|-------|---------|--------|-----|---------|
| | | 市町村負担金 | | |
| 1,984 | 1,964 | 1,571 | 393 | 20 |



| 資金の流れ、費目・用途の点検・評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|-------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | <p>○補助対象者については交付要綱等に従って決定しており、支出先の選定方法は妥当と考える。 ○予算規模については、派遣人数等に応じたものであり、適正な規模であったと考える。 ○渡航費及び宿泊費(上限有り)が主な補助対象経費となっておりその他は個人の負担となっていることから、受益者との負担関係は妥当と考える。 ○費目・用途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。</p> |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | ○ | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| | | | | | | | |
|---|--|---|--------------|---------|--------------------|-----------------------|---------|
| 市町村名 | 伊是名村 | | | | | | |
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 3-③ | 幼稚園預かり保育支援事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-2-(2)-1 | |
| 担当部署名 | 教育振興課 | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 地域における子育て支援の充実 Ⅲ-4 | |
| 事業内容 | 保護者の育児における負担感の軽減を図り、保護者が安心して仕事ができる環境を整備するため、幼稚園預かり保育に必要な嘱託保育士を配置し、教育時間終了後の預かり保育を実施する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d) | | 901 | 1,175 | 2,501 | 2,783 | 2,605 |
| | | | 901 | 1,012 | 2,026 | 2,783 | 2,605 |
| | | | 0 | ▲ 163 | ▲ 475 | 0 | 0 |
| | | | — | — | — | — | — |
| | | | 901 | 1,012 | 2,026 | 2,783 | 2,605 |
| | B. 執行済額 うち交付金充当額 次年度繰越額 執行率(%) (B/A) | | 693 | 1,012 | 1,788 | 2,189 | 2,377 |
| | | | 554 | 809 | 1,430 | 1,751 | 1,901 |
| | | | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | | | 76.9% | 100.0% | 88.3% | 78.7% | 91.2% |
| 予算の状況の説明 | 当初見積もった金額より保育士賃金が下回ったため228千円の不用が生じたが、計画どおり執行できた。 | | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | 達成状況 | | | | | |
| | | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 保育士の雇用:2人 | 目標 | (1人) | (2人) | (2人) | (2人) | |
| | | 実績 | 1人 | 2人 | 2人 | 2人 | |
| 達成状況説明 | 平成28年度よりすべての4歳児及び5歳児を対象にした、幼稚園2年教育がスタートし、平成30年度も保育士2名を雇用できた。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | 保護者へのアンケートで、預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 | 目標 | () | (80%) | () | () | () |
| | | 実績 | | | 90.5% | | |
| | 進捗状況説明 | 「預かり保育は保育者にとって育児の負担軽減につながっているか」のアンケートに対し、90%以上の保護者が大いに当てはまると回答し、目標を達成できている。 | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|--|--|---|
| | <p>・預かり保育の内容についてどう思うか、というアンケートに対して、満足・概ね満足していると回答した保護者が合わせて90%に上っており、事業及び活動内容について満足していることが伺える。</p> | <p>・本事業の効果について、預かり保育利用者から実感度合い等をアンケートにより確認することができた。引き続き保護者から意見を参考にしながら、本事業の効果の把握に努める。</p> |
| 今後の取り組み方針 | | |
| <p>・アンケートの回答や保護者のヒアリングを参考に、引き続き利用しやすい環境づくりと受け入れ体制強化を図っていく。</p> | | |

| 資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円) | | | | |
|--|---------|--------|--------|---------|
| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金充当額 | 市町村負担金 | 交付対象外経費 |
| 2,381 | 2,377 | 1,901 | 476 | 4 |
| <pre> graph LR A[伊是名村 2,377千円] --> B[賃金 2,377千円] B --> C[預かり保育職員 2,377千円] subgraph D [] C --- E[預かり保育職員賃金 2名 (交付対象外経費4千円)] end </pre> | | | | |

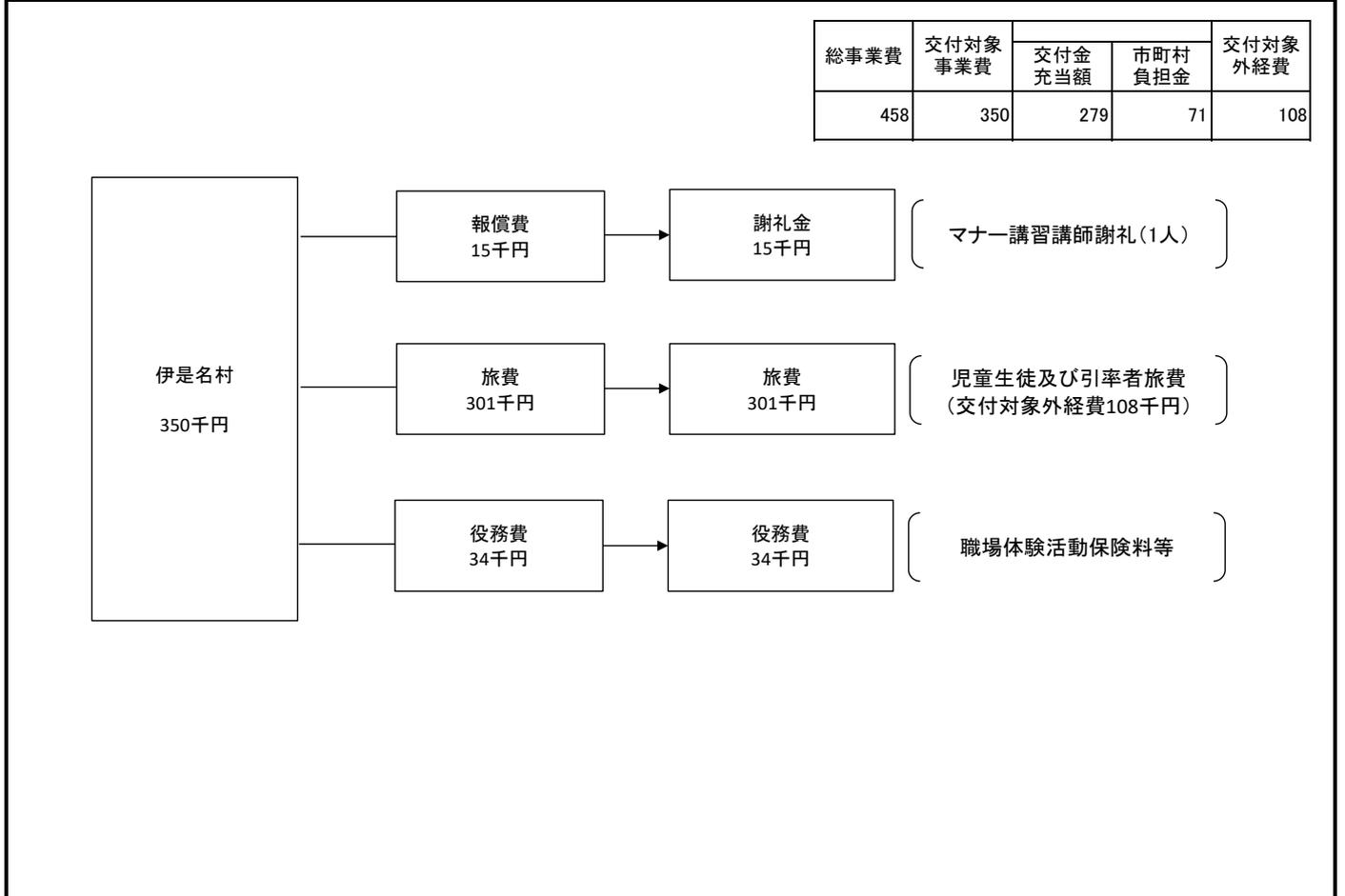
| 資金の流 点検 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|------------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○賃金については村規定に沿った形での支出となっており、妥当と考える。 ○予算規模については預かり保育を実施するための最低限の規模での予算規模となっており、適正と考える。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○費目・用途については賃金のみでの支出であり、確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。 |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|---|------------------|----------------------|----------------------|----------------------|--------------|-----------------------------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 3-④ | | グジョブ連携推進事業 | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-5-(3)-7 | |
| | 担当部課名 | 教育振興課 | | 事業実施(予定)年度 | 平成27年度～令和3年度 | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1) |
| 事業内容 | 児童生徒に自己理解・自己実現に向けた意欲の向上、また、目的意識の高揚や就業意識の向上を図るため、小学校ではジョブシャドウイング、中学校では職場体験等のキャリア教育を実施する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 |
| | | (a) 当初予算額 | 1,569 | 990 | 946 | 660 | |
| | (b) 予算現額 | 1,120 | 850 | 946 | 660 | | |
| | (c) 増減額(b-a) | ▲ 449 | ▲ 140 | 0 | 0 | | |
| | (d) 繰越額 | — | — | — | — | | |
| | A. 計(b+d) | 1,120 | 850 | 946 | 660 | | |
| | B. 執行済額 | 769 | 842 | 560 | 350 | | |
| | うち交付金充当額 | 614 | 673 | 448 | 279 | | |
| | 次年度繰越額 | 0 | 0 | 0 | 0 | | |
| | 執行率(%) (B/A) | 68.7% | 99.1% | 59.2% | 53.0% | | |
| 予算の状況の説明 | 中学校の職場体験において、沖縄本島での職場体験が台風の影響で3泊4日が1泊2日になったことにより、310千円の不用が生じた。 | | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 | |
| | 小学校:ジョブシャドウイングの実施 小学校5年生:10人 中学校:職場体験学習の実施 中学校2年生:10人 | 目標 | (小学生15人 中学生19人) | (小学生16人 中学生10人) | (小学生10人 中学生10人) | () | |
| | 実績 | 小学生16人 中学生17人 | 小学生11人 中学生9人 | 小学生9人 中学生9人 | | | |
| 達成状況説明 | <p>本事業を通して、児童生徒に自己理解・自己実現を図る意欲を向上させ、目的意識の高揚や就業意識の向上を高める活動の推進に向け、家庭・地域・行政が互いに連携を強化するとともに、小学校では地域教育資源の活用、中学校では勤労観・職業観を身に付けさせることなどを目的に、それぞれの活動を実施した。</p> <p>具体的な内容としては、受け入れ事業所の協力により小学校が10月に予定していたが台風の影響により11月に実施、中学校は10月に職場体験を実施した。</p> <p>人数については、転入・転校により目標と対象人数に差異が生じた。小学生・中学生ともに9人が対象となり、その全員が参加した。中学校の職場体験は、5日間の職場体験ウィーク期間を沖縄本島で実施し、島外の事業所での職場体験を3日間(移動等含めると5日間)実施する予定であったが、台風の影響により2日間の体験に留まった。</p> | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | キャリア教育を受けた児童生徒へのアンケートで、働くことへの興味・関心が湧いたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。 | 目標 | () | (80%) | () | () | () |
| | | 実績 | | 77.8% | | | |
| 進捗状況説明 | 働くことについて興味・関心が湧き、事前に家庭で話し合ったかとのアンケートで8割近い保護者が興味・関心が湧いていたと回答している。また、体験を通して職業観に変化があったかという問いでは、約4割の保護者が変わったと回答しており、概ね目標は達成できた考えられる。 | | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・中学校の職場体験が台風の影響で2年連続で予定した日程をこなせず、途中で島に帰ってきた。実施時期の見直しや3日間確保できるよう検討する。 ・離島である不利性として、見知った人間としか付き合うことがない、そもそも付き合いのある人間が少ないなどの点があげられる。そのため、人との接し方に課題がある。 ・近年、郷友意識が希薄になっていることから、島外に出ている村出身者からの情報提供が乏しく、本村を出たあとにどのような職業があるのか等、島外の情報に触れる機会が少ない。 ・キャリア教育を行っていくにあたり、児童生徒自らが将来の職業や目標をしっかりと見極めるため、目的意識を高めていく必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・次年度はできるだけ台風の発生が少ない11月頃に時期を見直し、職場体験は3日間確保できるよう取り組んでいく。 ・職場体験を意識した指導を日常的に実施することで、普段付き合うことのない人との接し方の改善に繋がるものと考えられる。 ・郷土出身者の働き方などを現場で見る機会を設けられれば、本村を出た後の就労に対するイメージをより具体化できるとともに、村出身者の事業所にて職場体験を行うことで、生徒の郷友意識の醸成にも繋がるのではないかと考えられるため、引き続き受け入れ先へ働き掛ける。 ・まだまだ働くことに興味・関心が湧いたと回答する割合が低いことから、引き続き事前学習等により予備知識を備えたうえで、就業体験を行ってもらうことで、「働くこと」についてより具体的なイメージを持つことに繋がり、更なる目的意識の向上を図る。また、児童生徒へ引き続きアンケート等により事業効果の確認を行うことで、事業内容で見直すべき箇所がないか、検証が可能になると考えられる。 |

| 今後の取り組み方針 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶や返事など職場体験時において必要な接遇マナーの向上に向けて、日常的な指導を児童生徒に対して日頃から徹底指導に取り組む。 ・郷友会等の事業所等での就労体験の受入が可能となるよう、該当する事業所等への働きかけを行っていく。 ・職場体験を通して人間関係、勤労観や職業観を自ら学ぶことにより、自己実現のために何が必要か、何をすべきなのかを児童生徒に意識づけしていくほか、中学生については、より職業観を身に付けさせるため、引き続き島外での職場体験を3日間確保し、より勤労観等を身に付けられるよう取り組んでいく。また、アンケートで、働くことへの更なる興味・関心が湧いたか等を質問し、成果が向上したか確認するとともに当該事業のあり方を検証していく。 |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



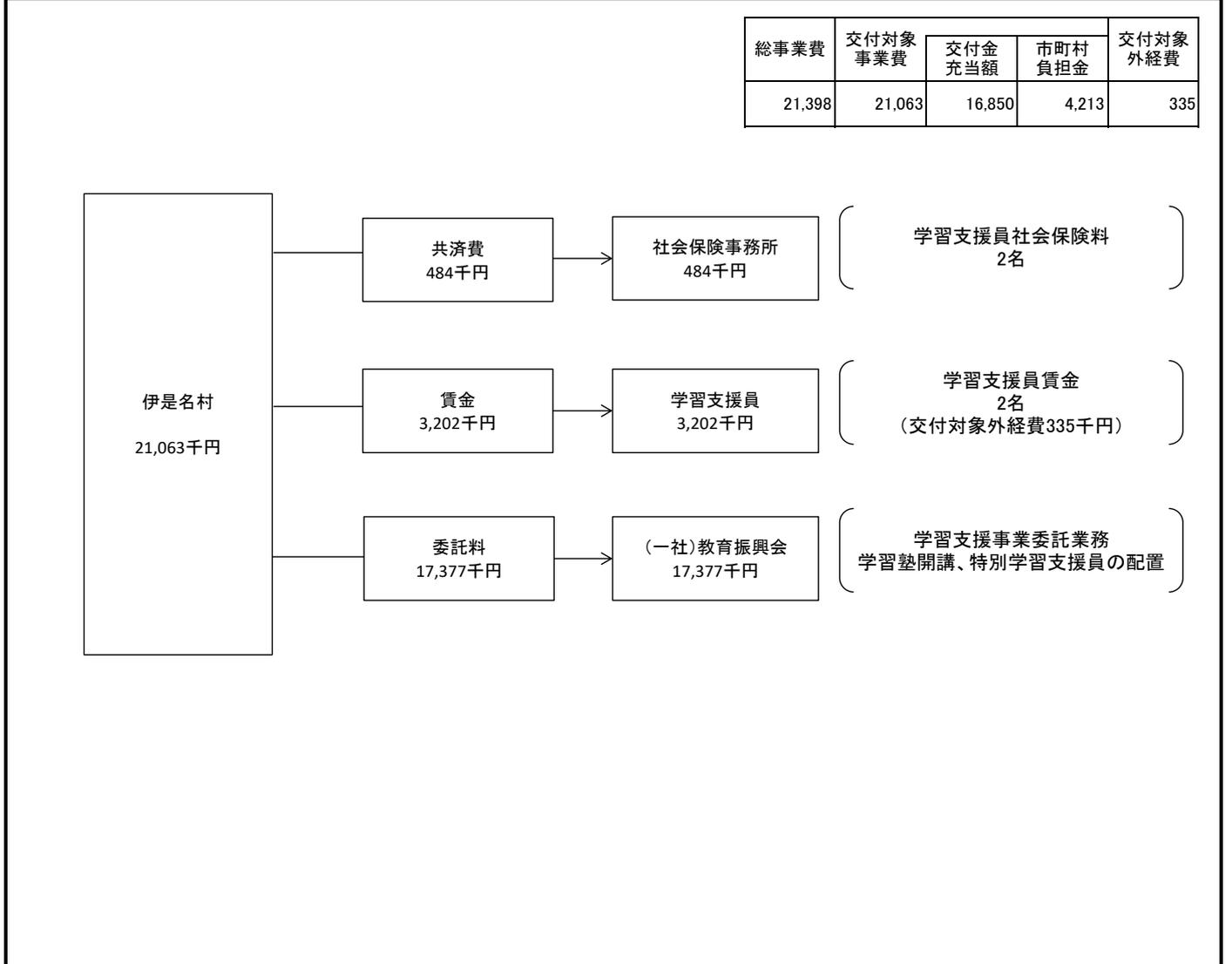
| 資金の流 れ、費 目・ 費目 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|-------------------------|----|--------------------------------|--|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。 | ○予算規模について児童生徒の対象人数を踏まえたものであり適正であった。 |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | ○費目・使途については事業目的達成の観点から支出等に関する書類により確認、適正であった。 |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | |
|--|---|--|---------------|----------------|--------------------|-----------------------------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 3-⑤ | 学習支援事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-5-(3)-7 |
| 担当部課名 | 教育振興課 | 事業実施(予定)年度 | 平成25年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 確かな学力を身につける教育の推進 Ⅲ-3-(1) |
| 事業内容 | 児童生徒の学力向上及び学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員を配置する。 | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | |
| 実施方法 | <input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 |
| | | (a) 当初予算額 | 7,628 | 7,342 | 14,968 | 23,510 |
| | (b) 予算現額 | 7,628 | 6,072 | 16,150 | 19,965 | 22,630 |
| | (c) 増減額(b-a) | 0 | ▲ 1,270 | 1,182 | ▲ 3,545 | ▲ 3,750 |
| | (d) 繰越額 | — | — | — | — | — |
| | A. 計(b+d) | 7,628 | 6,072 | 16,150 | 19,965 | 22,630 |
| | B. 執行済額 | 5,856 | 5,648 | 14,473 | 18,680 | 21,063 |
| | うち交付金充当額 | 4,684 | 4,518 | 11,578 | 14,944 | 16,850 |
| | 次年度繰越額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 執行率(%) (B/A) | 76.8% | 93.0% | 89.6% | 93.6% | 93.1% |
| 予算の状況の説明 | 学習支援員を当初3名配置する予定であったが、2名の確保に留まったことにより、3,750千円を減額した。また、最終的な勤務実績に基づき精算した結果、1,567千円の不用が生じたが、計画していた取り組みは執行した。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | 達成状況 | | | | |
| | | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | 学習支援員の確保:3人 | 目標 | (3人) | (2人) | (3人) | (3人) |
| | | 実績 | 3人 | 2人 | 2人 | 2人 |
| | 週3日程度学習塾を開講 | 目標 | () | (週5日) | (週5日) | (週3日) |
| | | 実績 | | 週3日 | 週3日 | 週3日 |
| 達成状況説明 | 学習支援員については3人配置予定であったが、2人しか確保できず小学校のみ教育活動の支援及び学習に遅れのある児童の支援を行った。 また、学習塾については、民間事業者へ公募型プロポーザルを実施し業者選定、週3日開講し民間学習塾のノウハウを取り入れた高い指導力と充実した内容で実施することができた。 | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | 基準値(年度) | 29年度 | 30年度 | 年度 | 目標値(年度) |
| | | ①平成30年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -6.0ポイント以上 | () | (-6.0ポイント以上) | (-6.0ポイント以上) | () |
| | | 実績 | | -18ポイント | -28.0ポイント | |
| | ②平成30年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 中学校 1.0ポイント以上 | () | (1.0ポイント以上) | (1.0ポイント以上) | () | () |
| | | 実績 | | 11.3ポイント | -15.8ポイント | |
| | 進捗状況説明 | ①小学校については(小5の3教科平均)-28ポイントで目標未達成、②中学校についても(中2の5教科平均)-15.8ポイントで目標未達成。 | | | | |

| | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|-------|--|--|
| 取組の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ・塾における学習への姿勢について、放課後の課外活動の感覚の強い生徒がおり、学習マナーの向上を図る必要がある。 ・県到達度調査で小学生・中学生ともに県平均を大きく下回っており、島ぐるみで子ども達の学力向上を目的とした取り組みが必要となっている。 ・学習内容に応じた子ども達への支援を図るため、学校・保護者の要望を把握し改善する必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校と連携して生徒を指導することが学習マナーの向上には有用と考えられる。 ・年度により男女比のバランスで単年度における数値にバラつきが出る。このバラつきを小さくするためには継続した学習の取り組みが有用と考える。そこで、これまでの対象に小学5・6年を加え、全児童・全生徒を対象とした学習支援が必要と考える。 ・英語の教科化に向けた対策として、小学校に英語指導員を配置して子ども達の英語教育の支援をすることも有用と考えられる。 |

| 今後の取り組み方針 |
|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・学習マナーの向上にあたっては、学校と連携を図りながら指導継続し、危機感を持たせながら学習に取り組む姿勢を受託業者と検討する。 ・次年度に向けては、全児童・全生徒対象に学習塾を実施し、切れ目なく学力の底上げに取り組んでいくほか、小学校に英語指導員の配置、学習支援員も引き続き配置を行うべく、早い段階で人材を確保できるように努めていく。 |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



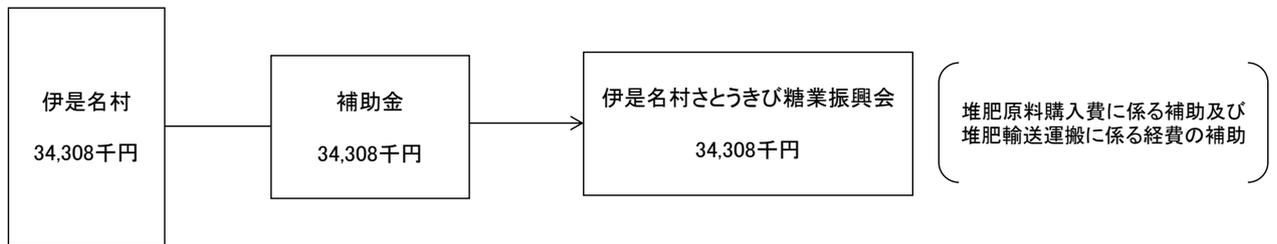
| 資金の 使途の 流れ、 費目、 評価 | 評価 | 点検項目 | 評価に関する説明 |
|--------------------------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | ○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | ○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。 |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | ○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。 |
| | ○ | 費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |

| 市町村名 | | 伊是名村 | | | | | |
|--|--|---|---------------|-------------|--------------------|--------------|-----------|
| 平成30年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】 | | | | | | | |
| 事業番号・事業名 | 4-① | 伊是名村土づくり支援事業 | | | 沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所 | 第3章-3-(12)-イ | |
| 担当部署名 | 農林水産課 | 事業実施(予定)年度 | 平成24年度～令和3年度 | | 沖縄振興基本方針該当箇所 | 農林水産業の振興 | |
| 事業内容 | 安定的な有機肥料の供給による土づくりの促進及び農作物の生産性の向上のため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。 | | | | | | |
| 効果発現年度 | <input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度) | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他() | | | | | | |
| 予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース) | 予算の状況 | 26年度 | 27年度 | 28年度 | 29年度 | 30年度 | |
| | | (a) 当初予算額 | 16,807 | 35,120 | 43,900 | 35,984 | 42,552 |
| | (b) 予算現額 | 16,827 | 32,960 | 53,976 | 35,984 | 34,308 | |
| | (c) 増減額(b-a) | 20 | ▲ 2,160 | 10,076 | 0 | ▲ 8,244 | |
| | (d) 繰越額 | — | — | — | — | — | |
| | A. 計(b+d) | 16,827 | 32,960 | 53,976 | 35,984 | 34,308 | |
| | B. 執行済額 | 16,827 | 32,960 | 53,976 | 34,452 | 34,308 | |
| | うち交付金充当額 | 13,461 | 26,368 | 43,180 | 27,561 | 27,446 | |
| | 次年度繰越額 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| | 執行率(%) (B/A) | 100.0% | 100.0% | 100.0% | 95.7% | 100.0% | |
| 予算の状況の説明 | | 当初予算額と見積金額との差額が生じたため、8,244千円の減額となった。 | | | | | |
| 活動目標(指標)及び達成状況 | H30活動目標(指標) | | 達成状況 | | | | |
| | | | 28年度 | 29年度 | 30年度 | 年度 | |
| | 堆肥導入数量:2,000t | | 目標 (3,000t) | (2,000t) | (2,000t) | () | |
| | | | 実績 3,000t | 2,000t | 2,000t | | |
| 達成状況説明 | 台風の影響で事業者の機械故障等により導入が遅れたが、12月に計画数量を導入することができた。 | | | | | | |
| 成果目標(指標)及び進捗状況 | H30成果目標(指標) | | 基準値(年度) | 30年度 | 31年度 | 年度 | 目標値(30年度) |
| | | | 目標 () | (5,484kg) | () | () | () |
| | さとうきびの単収 5,484kg | | 実績 | 5,480kg | | | |
| | 進捗状況説明 | 台風被害により減収を予想していたが、収穫時期までには回復し、単収5,480kgと目標をほぼ達成した。前年度5,121kgに対しては7%増となった。 | | | | | |

| 取組の検証 | 推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化) | 改善余地の検証(効率の更なる向上の視点) |
|--|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・台風被害により多少の減収はあったが、過去5ヶ年平均単収を6%上回る実績となった。継続的に有機肥料を散布してきたことで、地力の向上が図られていると考えられる。 ・事業推進する上での課題として、堆肥散布面積が約22ha、平均散布量10a当たり9tとなっているので、散布量に制限を設け、散布面積を増やす必要がある。 | <ul style="list-style-type: none"> ・農家の散布時期に堆肥の不足とならないように、散布時期に合わせた堆肥の運搬計画を立て実施していく。 ・関係機関と協議を行い、散布量に制限を設け、散布面積拡大を図る。 |
| 今後の取り組み方針 | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・引き続き有機肥料の投入による土づくりを促進し、農家、関係機関と連携しながら、更なる生産性の向上を図る。 | | |

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

| 総事業費 | 交付対象事業費 | 交付金 | | 交付対象外経費 |
|--------|---------|--------|--------|---------|
| | | 充当額 | 市町村負担金 | |
| 34,308 | 34,308 | 27,446 | 6,862 | 0 |



| 資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価 | 評価 | 点 検 項 目 | 評価に関する説明 |
|---------------------------------------|----|--------------------------------|---|
| | ○ | 支出先の選定方法は妥当か。 | <ul style="list-style-type: none"> ○交付要綱に適合する補助対象事業者への支出となっており、妥当である。 ○予算規模は必要量と供給量との比較により妥当である。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であったと考える。 |
| | ○ | 予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。 | |
| | - | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |